

# つくば日中協会ニュース

(筑波日中協会会報) 第16号

No. 16 (2011.3.31)

発行：つくば日中協会

事務局：〒305-0031 茨城県つくば市吾妻4-13-21 (川久保方)

Tel&Fax 029-851-4619

## ご挨拶

つくば日中協会 会長 不破 正宏

平成22年度も終了間近かとなり、次年度に向けて準備を始めている時期に、思いもしない大震災・津波・原発の放射能漏れが発生し、東北地方太平洋沿岸地域を中心に関東近隣に記録的な被害をもたらしています。被災された方々に心からお見舞い申し上げるとともに、復興に向けて力強く立ち上がってくださることを祈るばかりです。私たちも出来る限りの救援に努めたいと思います。

当協会も名誉会長の市原つくば市長を初め、関係各位のご理解とご支援のもと、熱心な会員たちの地道なご精進によって、平成22年度も、活発な活動を続けることができました。岡田副市長には、お忙しい中、度々行事にご臨席いただき、御礼申し上げます。長年交流を深め合っている筑波大学中国留学生会との筑波山登山、日中市民フォーラム、ホームパーティー、年忘れ日中交歓会など、この一年間の活動の様子をまとめてみましたので、ご一読いただければ幸いです。

昨年後半には、日中間に時ならぬ荒波が立ちましたが、私たちが地球上で生きていくために、共に連帯感を強め合わなければいけない時代が到来しています。今回の震災に寄せられた中国の皆さんからの多くのお見舞いとご支援・励ましに感謝をしながら、未曾有の大震災を乗り越えて日中市民間の友情が世界に広まり、世代を超えて受け継がれることを願っています。

## ご案内

### 平成23年度中国語講座を開講準備中！！



平成23年度の中国語講座開講にむけて、つくば日中協会役員の準備が進んでいます。会長の挨拶にもありますように、準備を進めております最中に東日本大震災が発生しましたことから、開講を1ヶ月遅らせる計画をくんでいます。

講座カレンダーなど詳細はあらためてお知らせする予定でいます。どうぞ奮ってご参加下さいますよう、お願いいたします。

中国語を学びながら中国文化への理解と日中の市民間の友情を深めましょう。

### 平成23年度中国語講座 概略

1. 開講期間 平成23年5月8日(日)～平成24年3月16日(金) 全40回  
5月8日は開講式の予定です。

## 2. コース

① 入門コース	廖 帥 先生	金曜日 (19:15~20:45)	竹園
② 初級コース	孟 熙 先生	水曜日 (19:15~20:45)	竹園
③ 中級コース	孟 熙 先生	木曜日 (19:15~20:45)	春日
④ 応用コース	李 晶 先生	火曜日 (19:15~20:45)	小野川
⑤ 新汉语コース	李 晶 先生	金曜日 (9:45~11:15)	小野川

\*会場は、都合により変更することがあります。

\*4月から、公民館が「交流センター」に変わり、使用料がかかります。

## 3. 受講料 (1年分 前納)

35,000円 (つくば日中協会員は、30,000円+3,000円 (年会費))

2コース目以降は各コース17,000円

教材費 別 (2,500円程度)

交流センター使用料は4,000円/人/コース

## 4. 申し込み締め切り

平成23年4月30日 (土)

ご報告



## 1. 平成22年度中国語講座開講式&amp;お茶会

4月18日小野川公民館において、平成22年度の中国語講座開講式を開催しました。受講受付、テキスト購入などの受付終了後、会長挨拶・講師の先生方の挨拶、受講生の自己紹介など、今年度も楽しく中国語を学びましょう！と決意を新たにしました。

そして、1階の調理室に場所を移し、今年もお茶会を催しました。草餅とお煎餅、ウーロン茶、そして、今年度の中国旅行計画について役員から紹介など、先生を交えて、楽しい歓談のひとときを過ごしました。

## 2. 平成22年度つくば日中協会総会および中国料理交歓会報告

平成22年度の総会を平成22年5月15日(土)午前10時から11時まで小野川公民館で開催しました。

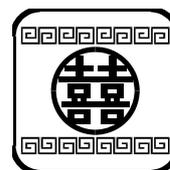
今回は来賓としてつくば市副市長の岡田久司氏、筑波大学中国留学生学友会会長黄蓉氏にご出席頂きました。他に役員8名、講師2名、会員6名(他に会員の家族が4名)、中国人留学生21名(オブザーバー)の、総勢43名の出席者でした。

不破会長挨拶の後、岡田副市長からは、つくば日中協会の活動を高く評価するお言葉を、また黄学友会会長からは今後も学友会とつくば日中協会との交流を密にして日中交流を増進して行きたいとの挨拶を頂きました。その後、川久保幹事(事務担当)による平成21年度の活動報告(中国語講座や諸活動報告)や、中澤幹事(会計担当)による平成21年度の会計報告があり、飯田会計監査より会計監査の結果、会計処理に問題がないことが確認されました。次いで役員紹介が行われ、王幹事長による平成22年度の活動計画(案)の説明と中澤幹事(会計担当)による平成22年度予算(案)の提出がありました。活動報告と活動計画及び、会計報告・会計監査報告と予算は出席者の拍手でもって了承されました。又、2年後のつくば日中協会創立20周年行事を行うための準備資金として募金箱による寄付金集めを総会当日からスタートする事が拍手をもって承認されました。

その他の意見として、岡田副市長から、つくば市が実施している「アイラブつくばまちづくり補助金」や「つくば市保有のバス」の利用申請を出してみてもどうかという貴重なご助言をいただき、筑波大学留学生から、日帰りのバスツアーを企画してもらえないかとの提案があり、つくば市保有のバスを利用したバスツアーの可能性を検討する事となりました。

総会終了後、11時から14時半まで同公民館の調理室で中国料理日中交歓会を催しました。料理は9時から準備されており、総会の間は一時中断してその後再開されました。中国人留学生の腕自慢の方々の指導の下、8種類の中華料理<sup>(\*1)</sup>ができあがり、美味しい中華料理を味わった後、飯田幹事と不破(睦)幹事の司会で出席者の自己紹介を行い、楽しい交歓のひと時を持つことが出来ました。

\*1 「可楽鶏翅」 「回鍋肉」 「紅焼肉」 「炒三丁」 「レンコン餅」 ほか



### 3. 筑波山登山報告

つくば日中協会事務局長 川久保 忠通

数日前からの天気予報通りに当日はハイキングに絶好の天気となりました。今回は中国人留学生学友会から参加者全員へ各々ペットボトル2本の飲料水の提供があり、有り難い事です。留学生の参加予定者は35名との事であったが当日の参加者は24名でした。例年の登山キャンセル者数は5名程度であるのに対し今年はかなり多く、用意していた食料の始末に苦慮したので、来年もこの催しを続けるなら何らかの改善策を考える必要があります。

筑波山の登山客はつくばエクスプレスが出来て以来年々増加しています。今年の女体山付近の登り客の大渋滞を見ると、今や、あの狭い登山道の受け入れ可能な容量の限界に来ているように思えます。この為、迷子が出る事を心配し、留学生学友会の担当者である常さんには要所で人数を確認して頂きましたが、大勢の登山客の中から我々のグループの30名近くの人数を数え上げるのは大変で、私のような識別能力と記憶力が減退した熟年者には不可能と感じました。そこで今後は5人程度のグループを作り、そのリーダーがグループの人数を確認して学友会の担当者に報告する方式にした方が良くと思います。

登山中は日本人受講者と中国人留学生とが日本語や中国語で和気藹々と交流し、楽しい登山が出来たと思えました。

この催しの中国人留学生学友会の担当者としてお世話頂いた常さん、ご自分は所用で参加されないのに今回の食料を購入し、配布して頂いた川村さんをはじめとして、この団体の先頭と殿をそれぞれ歩いて頂いた村田さんと飯田さん、それぞれお忙しい時間を割いて筑波山への送迎のため車を出して下さった皆様方に深く感謝します。又、参加者への連絡、保険の手配などこの催しを裏でサポートして下さったつくば日中協会の役員の皆様に深く感謝致します。

以下に行程など報告いたします。

また、留学生3名の方から感想文をいただきました。感謝いたします(多謝、多謝)。行程などの報告のあとに記載させていただきますので、今回の参加者は懐かしく思い出し、参加出来なかった方は、今年こそは是非是非参加できるよう、ご一読下さい。

開催日：平成22年10月16日(土)

集合場所&集合時刻：筑波大学南駐車場(野球場横)、7時30分

参加者：\*筑波大学中国人留学生(24名)

\*つくば日中協会関係者(13名)

行程概略：

7:30 筑波大学南駐車場（野球場グラウンド横）集合、川村役員の手配による食料（お握り3個、お菓子、ミカン2個）と学友会の手配による飲料水（お茶とジュース各1本、計2本の500ccペットボトル）を各自に配布、王幹事長挨拶、常学友会責任者挨拶、川久保役員の登山時の注意（迷子にならない事）の後、各車に分乗。

7:50 出発。快晴、気持の良い温度。

8:20 筑波山第3駐車場（駐車料金500円）。8:30 トイレを済ませ出発。

8:45 筑波山神社。全員で記念撮影。体調の都合でケーブルカーで登られる中井さんと別れ、残り的人達は村田さんを先頭に飯田さんを殿にして登山開始。気候は爽やかな快晴であるが、登り始めると暑く感じ、かなり汗をかく。

9:22 ケーブルカーのレールがすれ違う中間点で休憩。

10:10 御幸ヶ原。先に着いておられた中井さんと再会。ここで少し休んだ後元気のある人は男体山に登る。

10:30 男体山山頂。天気は良いが霞んでおり遠望は効かない。勿論富士山は見えなかった。いつもながらここから見る関東平野は広く平らで、山国の日本にもこんな所があるんだと再認識する。

11:20 男体山に登った人も御幸ヶ原でゆっくり休んでいた人も皆食事を摂ったので皆で記念写真を撮った後、女体山に向けて出発する。この道は自分の足で登って来た人ばかりでなく、ロープウェイやケーブルカーで登って来た人達もいるので非常に混雑している。



11:40 女体山山頂。ここからの景色も霞ヶ浦、宝篋山、ゴルフコースやロープウェイを見る事が出来、楽しい。ただ人が大勢いるのと岩が滑りやすいので注意しなくてはならない。10分ほど眺めを堪能して出発。中井さんと2名の留学生はケーブルカーを利用して下山するとの事で分かれる。ここからは滑りやすい岩場の急な下りとなるが道が狭いので登る人と下る人で混雑し、うまく流れない。特に登りの方が大渋滞となっていた。幼稚園の小さな子供達の団体も元気よく登って来る。

12:15 大仏岩のところでいったん集合し、人数を確認する。

12:39 この下りルートには大仏岩、出船・入船、母の胎内くぐり等、様々な奇岩があるが、その内の筆頭である弁慶の七戻りの今にも落ちそうな巨岩を見た後すぐ弁慶茶屋に着く。ここは5,6年昔まで茶店があったが今は完全な更地になっている。ここでもう一度人数を確認して筑波神社方面に下り出した。かなり下ったところで下から登って来られた宮島さんと会う。彼からは「体調の都合で後ほど個人的に参加する」と事前に連絡を受けていたが、元気そうで何よりである。殿の飯田さんに会ったら一緒に下ると言って登って行かれた。

13:46 筑波神社境内に着く。恒例のがまの油売りの口上をやっていた。ケーブルカーで下山された中井さんや留学生と再会する。15分ほど待って最後のグループが到着し、人数を確認して出発。飯田さんは宮島さんに会わなかったとの事。

14:16 筑波山第3 駐車場に戻って来た。飯田幹事の挨拶でこの会は解散となった。誰一人怪我也迷子もなく無事終了出来てホッとする。車に分乗して筑波大学に向かう。

14:45 筑波大学南駐車場。



### 【感想文】

筑波大学中国人留学生学友会 常鹏(男)

这次参加了由筑波日中协会举办的筑波山活动之后感触颇多。

一大早儿，由于我们留学生的交通不便，日方很周到的派了多辆车来接我们留学生。在停车场集合之后，把早已准备好的饭团和零食发给我们，然后领队的川久保先生向我们大家打招呼，交代了登山需要注意的事项之后我们就出发了。

登山的时候，大家三五成群，非常开心地一边登山一边和日本友人进行交谈。日本友人都会说汉语，对于这个留学生都既觉得新奇又觉得非常高兴。感觉虽然日本友人年纪比我们大，但是身体比我们还要好，登山的时候爬得非常快，反而是我们留学生一个个隔一会就要休息一下，非常惭愧。这次爬得很快，一个半小时就到了山顶的广场，尤其是村田先生，健步如飞，让我自叹不如。

在广场我们还拍照留念，一起吃饭团。休息了一段时间之后就去了女体山山顶，站在山顶的岩石上，能俯瞰山脚下的田地，非常美，可惜没看到富士山。在那里，留学生的心情都非常高兴，都站在山顶悬崖边的岩石上摆出各种造型拍照留念。

下山的时候，人非常多，很拥挤。大家都互相让路，保证通畅。还看到了幼儿园的小朋友，戴着各种颜色的小帽子，很努力地爬，而不是让父母老师抱，让我印象很深。

感谢筑波日中协会为我们留学生举办的这次活动，不但锻炼了身体，还加强了交流。

还有一点我们筑波大学学友会需要反省的，就是活动通知发得比较早，有的同学报名了之后当天却忘了参加；还有这次参加活动的大部分是新来的同学，有一两个同学不清楚集合地点，我们应该事先更具体地说明一下。

筑波大学中国人留学生学友会 張 浩(女)

非常感谢筑波日中協会和学友会同学组织的这次活动，使我们能非常近距离地同日本朋友互相学习，交流。日中协会的朋友对我们中国人留学生真挚的友谊，和所尽的热情周到的地主之情，让我们在异国他乡倍感温暖。希望能通过我们之间的桥梁使中日两国人民世代友好下去。再次对日本友人表示深深的谢意，也请转达我对他们诚挚的邀请，中国欢迎他们，北京欢迎他们！

筑波大学中国人留学生学友会 張 皓(男)

感覺不錯，日本友人都會一些中文，而且還了解很多中國文化，感受很親切。問題點是只顧著登山了，交流不是很多。缺少點互動的環節。

#### 4. 日中市民フォーラム報告

日中市民フォーラムは、今年度協会として始めてトライした行事です。以下に概略を報告いたします。



日時 平成22年11月13日（土）10時～12時

場所 並木公民館 会議室

講演 異文化体験の発表

1-1 「天に祈る」中国と「神に祈る」日本 - 封禪の儀は何処へ消えたのか -  
松木 益道 氏（つくば日中協会）

1-2 日本で生活して感じた事- 日本人の「他人に迷惑をかけたくない」という心  
趙 丹花 氏（筑波大学中国人留学生学友会）

開会(10:00)

つくば日中協会会長・筑波大中国留学生会会長挨拶

つくば市岡田副市長 挨拶（抄録）

総会に出席させていただき、協会の活動を知り今日参加させていただいた。国際都市つくばは、130カ国 7,000人の外国人が住んでいて、中国人は2,800人。

私は谷田部出身で、つくばの原住人である。昭和38年に研究学園都市の構想が出され、50年たった昭和54年（1979）にほぼ研究機関が出そろった。昭和60年（1985）には科学万博が開かれた。

平成元年にはつくば市が制定され、中国深圳市とはつくられた街であるという共通点から、姉妹都市となった。先日、深圳市－武漢－上海－天津とまわったが中国は今経済成長の中にある。20年前にも行ったが、いくたびに変貌している。

これから日中間は大事になる。ちゃんと理解を深めていこう。お互い仲良くして、中国の人たちには日本の心を理解していただいて、みなさんが国へ帰ると、中枢になるのだからこれからも友好関係を緊密にしていきましょう。

講演(10:20～)

1-1 「天に祈る」中国と「神に祈る」日本 - 封禪の儀は何処へ消えたのか -  
松木 益道 氏（つくば日中協会）

「講演要旨」

タイトルは『「天に祈る」中国、「神に祈る」日本－封禪の儀式は何処へ消えたのか－』というかなりアカデミックな講演内容でした。松木氏が今まで数多く旅行された中国の文化遺跡の写真を紹介されながら、地上界と天上界の間で交流があり、天を目指す中国固有の思想と、中国が生み出した文字や思想の影響で日本土着の文化（宗教など）がどのように影響を受けたかを説明されました。

(講演者からの補足) 日中文化比較の中で、地形が如何に影響するかを明らかにしようとした。日本は海の国、山の国であることは、今回の災害でも明らかです。中国では大陸の地形による自然現象が、人々の生活、思想形成に大きく影響している。「為政者による封禅の儀式」、「中国人は龍の伝承者である」、「宗廟」、「神仙思想」等は、あの地形から生まれて来た。真の友好は、先ず深く相手を理解することから始まる。皆さんとの文化論のきっかけになればと願います。

1-2 日本で生活して感じた事- 日本人の「他人に迷惑をかけたくない」という心  
趙丹花氏(筑波大学中国人留学生学友会)

「講演要旨」

日本の文化マナーや礼儀などについて感動したことや、中国と比べて感じたことなどを話された。食事のマナーでは、食前の「いただきます」食後の「ごちそうさま」と言うこと、また、理解出来ないことは「わりかん」や「すみません」と言うこと、など。また、自殺が多いことや野良猫が多いのも不思議である。メディアの強さも驚いた。日本人の謙虚な行動を見習いたい。

講演の後、留学生数名から質問があり、日本人と互いに発言をし合った。

日中市民フォーラムは、当協会としては初めての試みであったが、興味深い話をたくさん聞くことができ、大変有意義であった。

## 5. ホームパーティー

今年度は協会の8軒のご家庭からホームパーティー開催の協力を得、留学生を招待することができました。ご協力感謝いたします。

留学生のお一人から、感想文をいただきましたので、ここに紹介いたします。



林 穎(筑波大学中国人留学生学友会)

2010年11月21日、つくば日中協会の良いチャンスをいただき、homeparty活動に参加することができた。日本に来てから日本人の方のお宅へ訪ねるのは初めてなので、ずっと前から楽しみにしていた。

「天高く馬肥ゆる秋」と言われるような青い空、風に靡いてチラチラ舞ってきた紅葉。約束の時間通り、迎えてきたのは日中協会の会長不破さんだった。約20分後、不破さんのお宅へ到着した。もともと和風の建物が好きな私は、思わず興奮してしまった。典型的な和風の部屋に、異域の飾り物があちこち飾り付けられ、素敵な雰囲気にもまれていた。

不破さんご夫婦はとても親切なので、最初の緊張感がすぐに消えてきた。簡単に交流した後、今日の出し物の一番目は巻き寿司の作りだった。まず、奥さんが模範を示してくれた。のりに具を丁寧にのせ、巻いて出来上がり。ポイントは酢水に手をつけることだった。そして、私たちも体験することができた。簡単だそうに見えるけれども、やってみれば、綺麗に巻くことがそんなに易しくなかった。何回もやって、ようやくうまくなった気がした。そのあと、不破さんが用意してくれた御馳走になった。来日以来一番おいしい料理を食べて、幸せだった。食事の間、みんなは日本や中国のいろいろな話をして、楽しかった。

食事の後、不破家の伝統的な活動とも言える「MAY I ?」というゲームを体験させていただ

いた。ゲームが苦手な私に熱心に説明してくれた不破さんご夫婦に感謝の気持ちが一杯だった。とても面白いゲームだった。不思議なことに、最後私の点数が一番高かった。

20年前から始まったそうだったこのゲーム。その点数を記録したノートを見て、日本人、中国人の名前が沢山あった。このゲームをやって楽しそうなシーンを想像することができた。まさに日中両国の人々に友好交流の証だと思う。この友好交流の事業に力を注いでいる不破さんご夫婦、またたくさんの方に感謝している。

皆様のご協力のおかげで、私たち留学生が楽しい留学生生活を過ごすことができたからだと深く感じた。自分も少しだけでもいい、日中両国の友好交流に自分なりの貢献をしたいとその時から強く思っている。最後、この貴重なチャンスをご提供いただいた不破さんご夫婦、つくば日中協会、筑波大学中国人留学団体に、本当にありがとうございました！

## 6. つくば日中協会年忘れ日中交歓会報告

恒例の忘年会「年忘れ日中交歓会」、平成22年12月19日、つくば市ゆかりの森 老人福祉センターで開催しました。

まずは、中国人協会員の指導の元に、留学生・参加者による水餃子作り。広々中国の地方色豊かな餃子が次々と包まれていきます。

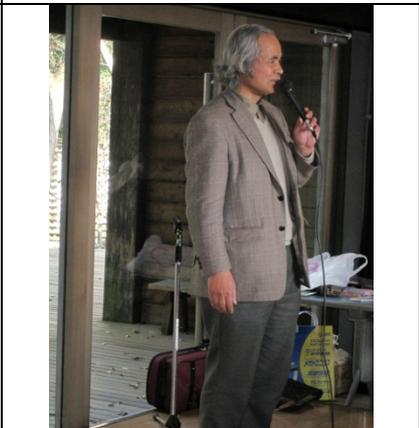
水餃子に春雨サラダ、日本の寿司など、たくさんの料理に舌鼓をうち、各テーブルで日中互いの談笑の後は、ゲーム・ビンゴなどで大いに盛り上がりました。

今回は、つくば市から岡田副市長、ヘイズ・ジョン市議、片岡国際課長がおいで下さり、ご挨拶をいただきました。

また、中国語講座受講生による二胡の演奏、留学生によるバイオリン演奏があり、さらに花を添えて楽しい一日となりました。

今回は基礎コース受講生の深谷さんが撮影された、たくさんの写真の中からまとめて下さいましたので、以下に掲載させていただきます。



<p>開会前の料理の準備 餃子 作りに全員参加</p>	<p>恒例 廖講師の日本人メン バーへ秘伝伝授</p>	<p>中国人留学生はさすがの手際 良さを披露</p>
		
<p>開会前準備 ビンゴ商品の 準備と確認 「指さし確認！」OK!</p>	<p>不破つくば日中協会会長 会 長挨拶</p>	<p>黄蓉筑波大学中国留学生学友 会会長 挨拶</p>
		
<p>乾杯後の歓談</p>	<p>不破会長夫人のゲームに、各 チーム奮闘</p>	<p>交際交流の重要性を語る岡田 副市長のご挨拶</p>
		
<p>ヘイズ・ジョン市議ユーモ ア たっぷりにご挨拶</p>	<p>金成姫さん ご挨拶をしつと りと</p>	<p>片岡国際課長 ご挨拶</p>
		

<p>つくば日中協会メンバーによる二胡の演奏</p>	<p>留学生の素晴らしいバイオリン演奏</p>	<p>唐莉莉さん挨拶と中国の歌の熱唱</p>
		
<p>中国語講座での練習成果の披露</p>	<p>不破つくば日中協会会長 閉会挨拶</p>	<p>散会</p>
		

ビンゴの写真がなかったんですが、、、。  
ビンゴ写真は？



申し訳ありません、担当者がさぼっていました。

皆、自分のビンゴに夢中でしたものね！  
深谷さん ありがとうございます。



## 7. 日本料理講習会

留学生の皆さんに簡単な日本料理を覚えて貰おう！と昨年度から活動計画に加えた、イベントです。ベテラン料理人が如何にやさしく料理のこつを伝授できるか？！当日は不破会長夫人、川村幹事、協会の日本人数名の指導の下に、留学生20名が日本料理に挑戦しました。

日時：平成23年1月16日(日)

- メニュー ① 海苔巻き寿司(細巻き)  
② いなり寿司(油揚げを甘辛く煮付け、その中に寿司飯が入っている)  
③ 鯖の煮付け

日本料理講習会に参加して

つくば日中協会 幹事 宮島

このイベントは去年から始まった新しい企画で、今年で2回目になります。作るメニューはさばの味噌煮、まき寿司、お稲荷さんで、日本の伝統料理作りを通して、中国人留学生の日本文化への関心を高め、より理解してもらうことなどを目的としています。4つの班に分かれそれぞれの班長の指導と説明のもと、留学生たちは悪戦苦闘しながらも楽しく、興味津々の様子で料理作りにチャレンジしていました。

私は去年は応用コースの中川さんとともに留学生の指導役を務めさせていただいたのですが、煮物の指導はベテラン主婦に一日も二日も長があることは明らかで、今回はサポート役に回りました。そのため、留学生たちの反応などをよく観察することができました。

このイベントに参加する中国人留学生は、他の企画の時よりも実に生き生きしています。本当に楽しんでいるように見えるのです。これは、日本文化に接する楽しさだけではなく、熾烈な



受験戦争に勝利するために取り上げられた料理を作るという楽しみを、実は彼らは今ごろになってその機会を得たのではないのでしょうか？中級コースで使っているテキストによると、中国では学生に料理をさせないとのこと。彼らの危なっかしい包丁使いはそのテキストの内容が間違っていないことを物語っています。日本料理講習会は中国人留学生に対し、日本料理作りの楽しさ以前に料理の楽しさを伝える機会となっているように思います。

## 8. 寧波工程学院外国語学院訪問 (報告)

平成22年12月28日、不破会長、幹事不破睦子、飯田 茂、宮島利博 は寧波工程学院の高浩其院長と寧波工程学院外国語学院の姚劍鵬院長などにお会いし、今後の交流について互いの感触を率直に話し合う機会を得ました。

寧波工程学院外国語学院との交流については、学院のホームページに載っています。

[http://news.nbut.cn/News\\_Show.asp?ID=10720](http://news.nbut.cn/News_Show.asp?ID=10720)

[http://news.nbut.cn/News\\_Show.asp?ID=10713](http://news.nbut.cn/News_Show.asp?ID=10713)

### 8-1 訪問内容概略及び春秋航空について (宮島幹事報告)

まずは、無事に日本に戻ってきましたのでご報告いたします。

楊先生にはいろいろとお骨折りいただいた上



に、温かいおもてなしをしていただき本当にありがとうございました。くれぐれもご両親及び学院長に宜しくお伝えください。

ところで、正式な報告は会長からしていただくとして、寧波工程学院訪問及び春秋航空搭乗体験の簡単なお報告を致します。

まず、川村さんの心配はまったく杞憂に終わりました。楊先生があらかじめよく説明して下さっていたのでこちらのことを十分理解した上で、明確に以下の3点について協力を要請されました。

#### 1 人的交流

寧波工程学院は日本人留学生を受け入れていないため、日本人との会話はもちろん日本人の生の声を聞く機会が少なく、そのため、交流活動はもちろん講演会（肩書きなど必要なく、中学生でもいいそうです）などを開きたいとのことでした。

#### 2 書籍の収集

寧波工程学院の図書館及び日本語学科の資料室を見せていただいたのですが、日本語学習のための参考書程度しかなく（しかし、参考書は実に充実しています 街の本屋さんも参考書は非常に充実しています）、日本語の書籍、特に文学や言語学についての書籍の収集が急務であることは一目瞭然です。そのための資金も用意してありますが、小学生の作文集や古新聞、新聞広告など（もちろん読み古した本も）学生にとって役に立つもの送るか持ってきて欲しいとのことでした。

#### 3 大学間の交流について

これについては、日中協会ではあまりお役に立てないと思いますが、交流や人的交流（留学生、教職員）を望んでいるとのことでした。

#### 4 春秋航空について

行きの飛行機と帰りの飛行機のシートは違って、行きの方がゆとりがありました。帰りはかなり狭かったです。下に物を落としたり拾うこともできません。寝るのに体を少しずらすこともできません。行くときはほとんど苦になりませんでした。帰りの飛行機ではかなり疲れていた上に、寧波滞在中、寝るのは12時、1時過ぎで翌朝5時、6時起きが続いていたため寝てしまったのですが、眠気はとれたが体はむしろ疲れてしまったような気がします。なお、搭乗率は行きも帰りもおそらく100%だと思います。なお、機内への荷物の持ち込みはかなり制限されますので、冬場に長期旅行はきついと思います。

#### 5 茨城空港について

すばらしいの一言です。家から近いし（私の家からちょうど40キロで1時間程度でつきます）、駐車場はタダ、小さい子供がいても迷子になる心配はなし、歩かないし、できたてだから当たり前ですがきれいだし（はじめて日本に来た中国人は、日本はなんて清潔感のある国だと感激するでしょう）、飛行機は滑走路まで近いから時間がかからないし

欠点としては①免税店が売店程度の広さしかなく、酒を置いていないこと ②春秋航空の荷物制限が厳しく受け付けが面倒で意外に手続きに時間がかかる ③便数が少ない ということです。

しかし、お酒なんていらぬし、海外旅行は買い物に行くのではないという人には①はまったく問題はないですし、②は茨城空港の問題というより春秋航空の問題ですし、③については来年から札幌と中部国際に飛びますので80点はつけていいと思います。

### 8-2 寧波工程学院外国語学院での姚院長のご発言（要旨）（飯田幹事 報告）

- ・日本語の言語学及び日本文学に関する文献・資料が少ない。これらは日本語研究には欠かせないが、研究用の理論や論文が極めて少ない。  
北京市に行って買って来たりしているが、英語に比べ格段に少ない。  
研究用、学術用に研究を積み上げていくための資料が少なすぎる。

- ・科学技術にとっても、研究を進めていきたいが資料が少ない。  
そのせいもあり、学生たちの卒業論文のテーマも限られてきてしまって、狭くなってしまっている。少々焦りを感じている。
- ・日本文学の代表的作家の作品が少ない。
- ・「小学校の教材」や「小学校の作文集」などがあれば、日本語学習に役立つ。
- ・日本の大学との交流を望む  
日本の言語学、文学の面について、日本の大学教授の招聘をお願いしたい。  
‘王観誠基金’を使って客員教授として迎え入れたい。
- ・日本の福岡市に‘外国語学院’を作った。  
今後、教員の研修として使っていきたい。  
留学生として送っていきたい。
- ・日本から講演にきてもらいたい。  
専門家としてでもいいし、留学生としても来てもらいたい。  
1人をヨーロッパに行かせるお金で、日本からなら講師として何人も呼ぶことができる。  
1カ月いや1週間でもよい。  
学生たちはナマの日本語に接することができ、学習に役立つ。



- ・宁波市の紹介（省略）
- ・つくば日中協会に対し、私どもとの架け橋になってくれることを大いに期待しています。
- ・芸桜会（学生サークル）の紹介（省略）

なお、飯田幹事からこのニュース5ページ分にも相当する報告記「中国の旅～宁波工程学院～」を寄稿していただきました。上記の概略報告に加え、春秋航空や寧波の町の様子、大学生気質、飯田さんが率直に感じた事など、まるで同行したような気分を味わえる文です。概略版として纏めてしまうのは惜しいし、またしかし紙面の都合上全文を掲載することができません。閲覧をご希望の方は、お近くの幹事にお問い合わせをお願いいたします。

## 9. 春節パーティー報告（筑波大学中国留学生学友会主催）

### 中級コース受講生 盛光 稔氏寄稿

今年も中国留学生による春節パーティーが行われました。

本来は「旧暦の大晦日」に行われるのですが、その日は日本では平日でしたので、少し早めの1月29日、土曜日に行われました。

パーティーは午後5時開催だったのですが、留学生達は随分早くから会場の大学食堂に集まり、



パーティー開始一時間以上前から、その場所はずでに中国気分いっぱいとなり、一瞬「ここは中国なのでは？」と錯覚するほど中国一色でした。参加者は150名以上と言う事で、会場内は留学生や関係者、家族の皆さんでいっぱいになりました。

パーティーは開会セレモニーのあと、しばらくの時間、準備された“本場”中国料理を食べながらの談笑時間となりました。私も留学生の会話の中に加わり、彼らの中国料理の味自慢を聞いたり、故郷での春節の様子を聞いたりして親交を深めました。パーティーはその後、カラオケ

大会、風船運びゲーム、椅子取りゲーム等で多いに盛り上がり、とても楽しい賑やかな春節パーティとなりました。

留学生にとっては故郷の春節を懐かしむことが出来た貴重なひと時だったでしょう。そして、今回のこのパーティは、私にとっての小さな国際交流の場ともなりました。



---

### 『原稿募集中』

会員の皆様には是非ともニュースへの投稿をお願い致します。中国語講座受講の感想、中国旅行体験記など、その他の事でも大歓迎です。

### <<入 会 案 内>>

つくば日中協会に入会ご希望の方は、事務局に会員登録票を請求し、記入の上、年会費と共にご提出下さい。

会費：一般：3000円、学生：1500円

賛助会員・団体会員：一口10,000円

つくば日中協会ホームページアドレス：

[http://www.geocities.jp/tsuku\\_nittyuu/](http://www.geocities.jp/tsuku_nittyuu/)